

第2回永井荷風文学賞受賞作

イ・ラン／著、斎藤真理子・浜辺ふう／訳

河出書房新社、2025年9月



声を出して、 呼びかけて、 話せばいいの

登壇者

イ・ラン（第2回永井荷風文学賞受賞者）

1986年韓国・ソウル生まれ。貧しさや死、悲しみ、不安と痛みに向き合い、言葉と歌の力を問い続けるアーティスト。

斎藤真理子（第2回永井荷風文学賞受賞者）

新潟市生まれ。翻訳家。パク・ミンギョ『カステラ』（共訳）で第1回日本翻訳大賞受賞。ハン・ガン『別れを告げない』で読売文学賞受賞。

浜辺ふう（第2回永井荷風文学賞受賞者）

京都・東九条生まれの劇作家・俳優。朝鮮半島と日本の文化が交わる土地に育ち、地域の歴史と複合的なアイデンティティを演劇で描く。

金原ひとみ（作家・永井荷風文学賞選考委員）

1983年生まれ。小説家。『蛇にピアス』ですばる文学賞、芥川賞を受賞。『YABU NONAKA ―ヤブノナカー』で毎日出版文化賞・紫式部文学賞を受賞。

永井荷風文学賞記念イベントⅡ

教養の一貫教育
Vol. 13

2026年11月25日（水）
15:15～17:45（予定、15:00 開場）
慶應義塾高等学校
日吉協育棟4階 日吉協育ホール

開会挨拶・阿久澤 武史（慶應義塾高等学校長）

閉会挨拶・小菅 隼人（日本演劇学会会長・慶應義塾大学理工学部教授）

コーディネーター・司会・古川 晴彦（慶應義塾高等学校主事・三田文学理事）

協力・岡英里奈（『三田文學』編集長）・竹花進（河出書房新社）

デザイン・新倉慎右

主催・HAPP（慶應義塾大学教養研究センター 日吉行事企画委員会）

三田文学会

慶應義塾高等学校（日吉協育プログラム）

対象・塾生（大学生・大学院生・一貫教育校生）・教職員・三田文学会会員

問い合わせ先・慶應義塾高等学校国語科古川 furukawa [at] hs.keio.ac.jp

*事前申し込み不要

*塾高生は将来開発プログラム2ポイント対象

*イ・ランさんは韓国から配信予定。その他の登壇者も対面ではなく配信となる可能性があります。



イ・ラン